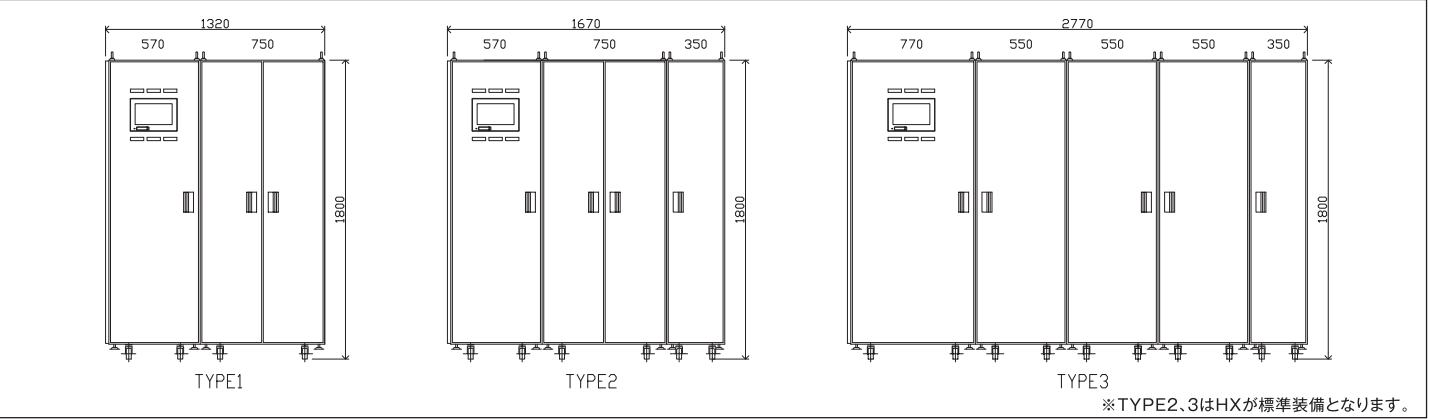


●機器仕様

型 式		TYPE-1			TYPE-2		TYPE-3	
		252	253	254	751	752	753	754
透過水量(L/h)	加温時(25℃) 標準/ピーク	450/550	680/770	900/1,020	1,100/1,250	2,100/2,400	3,100/3,400	3,800/4,300
	非加温時(7℃) 標準/ピーク	230/270	340/390	470/520	750/810	1,500/1,610	2,100/2,360	2,800/3,000
ROモジュール	超低圧スパイラル型	4インチ			8インチ			
RO膜(本)		2	3	4	1	2	3	4
原水加温ヒータ(kW)		15	25	30	40	70	110	120
RO水消毒ヒータ(kW)		20					30	
プレフィルタ(mm×本)	10μ	500×1			750×1		750×3	
カーボンフィルタ(mm×本)		750×1		750×3		750×5	750×8	
軟水機樹脂量(L)		42			60		90	
原水タンク(L)		100					150	
原水加圧ポンプ(kW)	50/60Hz	0.74/0.74				1.27/1.28	1.27/2.2	2.3/2.9
ROポンプ(kW)	インバータ仕様	2.2			4.0		5.5	
送水ポンプ(kW)	インバータ仕様	0.74×1台			0.74×2台			
RO水タンク(L)		137					205	
紫外線殺菌灯(W)	浸漬型	60						
寸法(W×D×H)	標準仕様の場合	1,320×1,020×1,800			1,670×1,020×1,800		2,770×1,020×1,800	
製品重量(kg)		980	995	1,010	1,270	1,320	1,610	1,675
運転重量(kg)		1,300	1,320	1,350	1,650	1,710	2,245	2,325
電源(kW)	3φ200V 50/60Hz	3.68/3.68 [30A ELB]			6.22/6.22 [50A ELB]	6.75/6.76 [50A ELB]	8.25/9.18 [75A ELB]	9.28/9.88 [75A ELB]
	1φ100V	1.0 [10A ELB]						
接続配管	原水/送水/排水	25A×1/ 20A×1/ 32A×1			25A×1/20A×2/32A×1		32A×1/25A×2/32A×2	
原水加温方式		電気ヒータ方式、温水直投入方式、ボイラ循環方式、熱交換方式						

- ・透過水量は水温25℃、運転圧力1.0MPa、使用原水濃度0.15%(NaCl)の運転条件です。非加温時の場合、HXは搭載されません。
- ・原水硬度は55mg/Lを設計基準としています。基準以上の場合、軟化機が機種変更になることがあります。
- ・カーボンフィルタは原水遊離塩素0.5mg/Lを設計基準としています。基準以上の場合、使用する本数が増えることがあります。
- ・透過水量・外形寸法等は原水水质・運転状況により変更となる場合があります。
- ・装置仕様によって、電源用(3φ200V)ELB容量が変わる場合があります。
- ・原水加温方式が電気ヒータ以外の場合、熱水消毒用として電気ヒータ用電源が必要です。

外形図



Option

- RO水UF膜(専用キャビネット化)
- RO前処理LLシステム
- RO膜出口以降薬液消毒システム
- RO水加温システム

カタログ記載の内容につきましては予告なく変更する場合があります。

カタログ発行:2020.01



日本ウォーターシステム株式会社

本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-9-4 西野金陵ビル4F
東京支店 〒351-0111 埼玉県和光市下新倉5-9-22
大阪支店 〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-5-12
北海道営業所 〒004-0053 北海道札幌市厚別区厚別中央三条5-7-25
東北営業所 〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井6-4-1
中部営業所 〒463-0072 愛知県名古屋守山区金屋2-191-1
広島営業所 〒733-0032 広島県広島市西区東観音町25-3
九州営業所 〒811-0201 福岡県福岡市東区三苫6-1-25
南九州営業所 〒892-0834 鹿児島県鹿児島市南林寺町27-4 柚木ビル2F
(株)日本ウォーターシステム四国 〒760-0052 香川県高松市瓦町2-7-14 フォルテ瓦町駅前ビル6F
製造元:株式会社タングラム 〒421-0412 静岡県牧之原市坂部110-5

TEL.03(4321)0150(代表) FAX.03(4321)0149
TEL.048(450)3950 FAX.048(466)4313
TEL.06(6387)1104 FAX.06(6387)3241
TEL.011(796)8255 FAX.011(796)8256
TEL.022(288)3112 FAX.022(288)3113
TEL.052(799)5230 FAX.052(799)5231
TEL.082(233)9351 FAX.082(233)9357
TEL.092(605)0555 FAX.092(605)0565
TEL.099(224)8118 FAX.099(224)8110
TEL.087(832)5771 FAX.087(832)5772
TEL.0548(29)0421 FAX.0548(25)0010

<http://www.j-waters.co.jp>



透析用水作製装置



キーワードは“Advance”

「医療現場の要望を具現化する」をコンセプトに「エコ」「操作性」「清浄化」「省スペース化」を徹底的に追及し、先進技術を搭載しました。さらにJモニターの標準装備によって、「安心」をプラスしました。



さらなる

- **エコ**を実現
- **操作性の向上**を実現
- **清浄化**を実現
- **省スペース化**を実現
- **安心**を提供

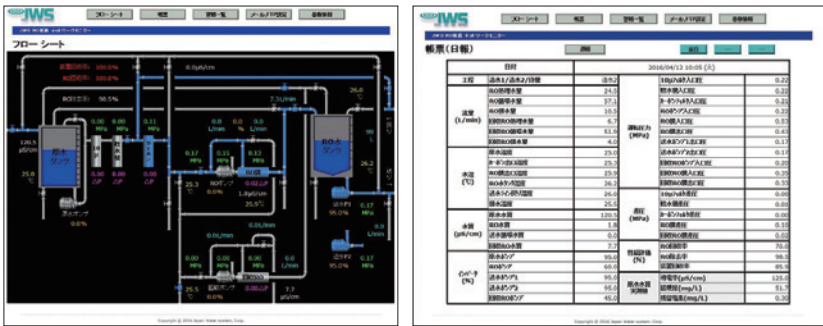
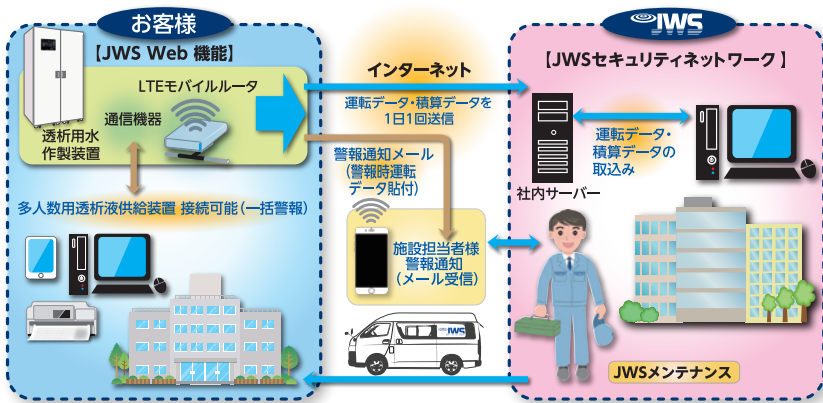
安心を提供

ゼロ
透析遅延「0」を目指します。

標準装備されるJモニターの警報メール機能によって透析遅延をゼロへ



- 透析用水作製装置の警報発生時には、予め登録したお客様のメールアドレスにメールを自動送信し、警報内容を通知します。
- 警報内容がリアルタイムで確認できるため早期措置が可能となり透析遅延の減少につながります。
- 透析用水作製装置運転データの帳票を自動作成する機能によって、お客様の日常業務を軽減します。
- Wi-Fi通信によって、タブレットやPCで、フローシート、警報情報、運転データの閲覧が可能です。
- 透析液供給装置など外部機器からも警報メールを送信可能です。

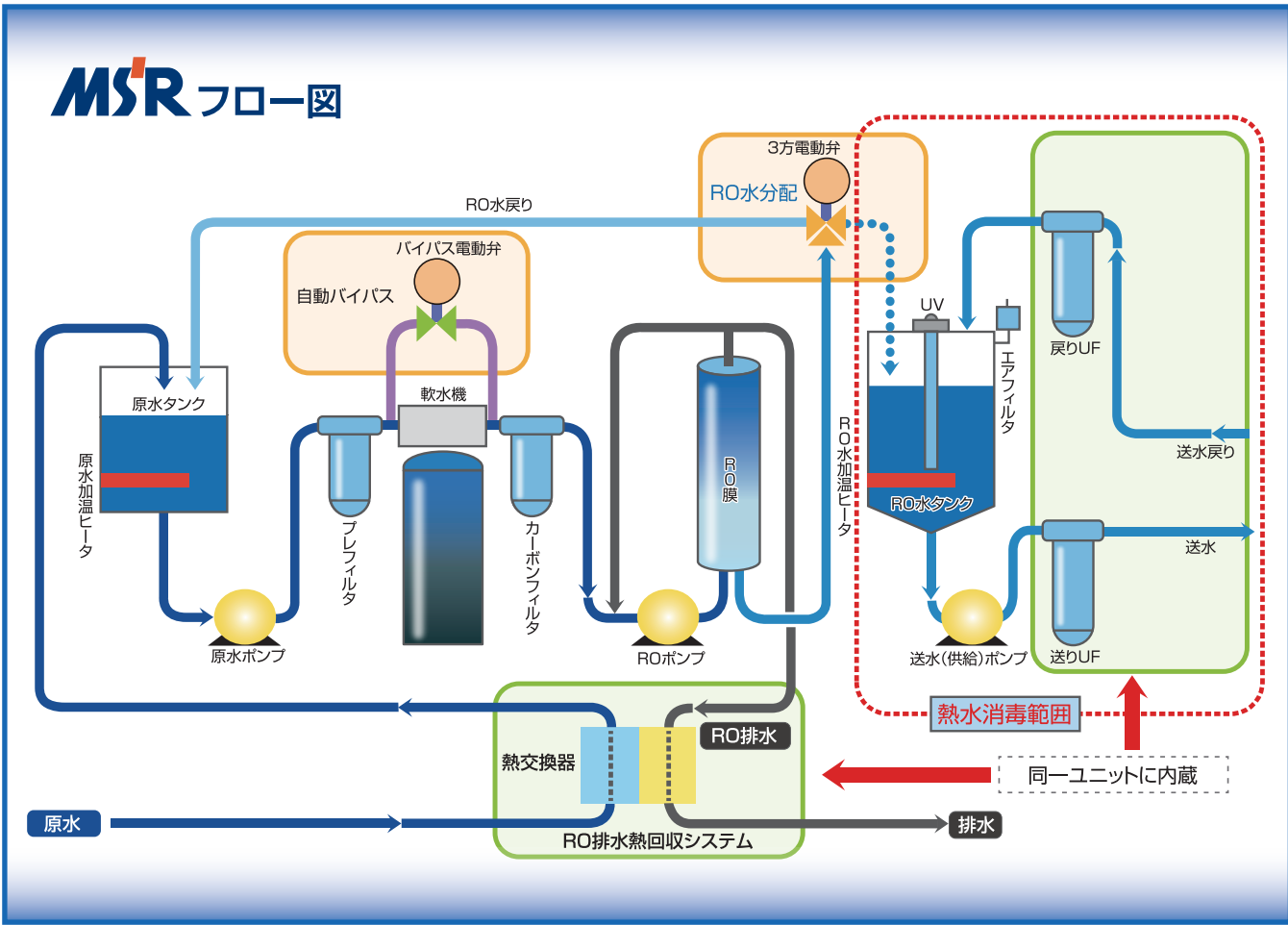


フローシート画面

日報画面

清浄化を実現

- 新RO水分配機構の採用によってRO水戻りによる原水希釈で、さらなる清浄化を実現しました。(原水希釈機能)
- RO水タンク以降熱水消毒を標準装備しました。
- RO水タンクの四角錐形状化
- バイパスライン自動フラッシング
- PVDF配管の採用



省スペース化を実現

- ビルトインによる省スペース化を実現
- ・RO排水熱回収システム
- ・UF膜
- ・原水流量計
- ・減圧弁
- ・ウォーターハンマー防止器 を内蔵



操作性の向上を実現

- 高解像度LCD画面の採用によって視認性と操作性が向上しました。
- カラーユニバーサルデザインの採用によって視認性が大幅にアップしました。
- 誤操作防止のためLCD画面上の操作スイッチにも配置の工夫をしました。



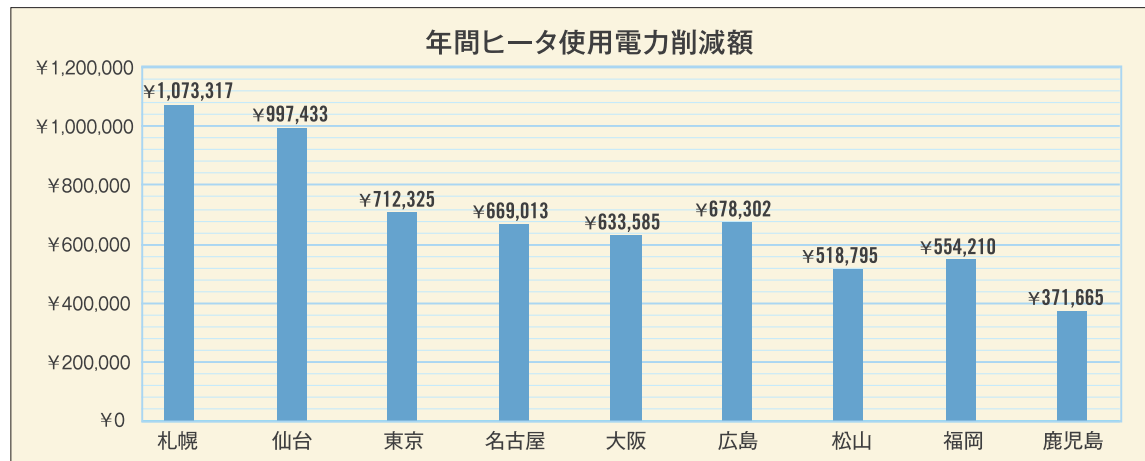
エコを実現

新たな機能でランニングコストを削減 TYPE2、3は標準装備

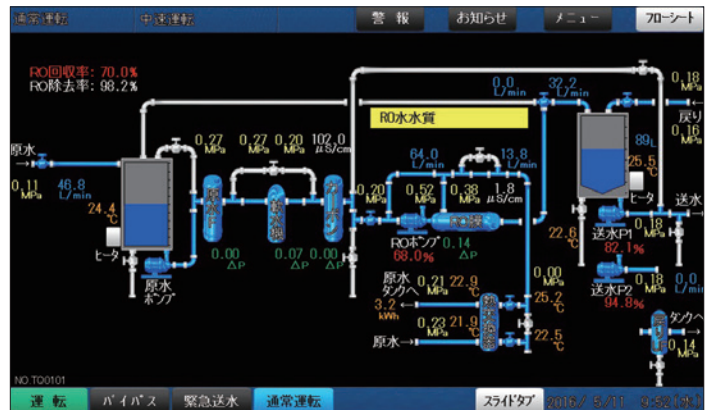
- 新RO水分配機構の採用によって水道代を削減します。
- RO排水熱回収システムを標準装備し電気代を削減します。



RO排水が持つ熱量を熱交換方式によって透析用水作製装置供給原水の加温熱源として回収し、原水加温に掛かる消費電力を減少します。



※当社テスト条件による試算のため、実際の削減額と異なる場合がございます。 ※非加温時の場合、HXは搭載されません。



LCD画面は色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られていると、NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構により認証されています。